

令和7年度第1回沖縄県文化芸術振興審議会 議事概要

日時: 令和7年8月14日(木)10:00～11:00

場所: 沖縄県庁6階第2特別会議室

1. 参加者:

- ・沖縄県文化芸術振興審議会委員(別添: 委員名簿参照)
- ・沖縄県文化観光スポーツ部 文化スポーツ統括監、文化振興課(事務局)
- ・沖縄県関係課職員(別添: 関係課出席者名簿参照)

2. 配付資料

- ・次 第
- ・審議会関係資料(委員出席状況、座席表、沖縄県文化芸術振興審議会規則)
- ・資料1 文化芸術関連予算と後援・共催の推移
- ・資料2 文化芸術振興計画の進行管理【成果指標の状況】
- ・資料3 文化芸術振興計画の進行管理【具体的施策の取組状況】
- ・資料4 文化芸術振興基金の創設について
- ・資料5 戦後80周年平和祈念事業実施スケジュール

3 審議会次第

- ・開会
- ・文化スポーツ統括監あいさつ
- ・報告事項
 - ①「沖縄県文化芸術振興計画」の進行管理について
 - ②「沖縄県文化芸術振興基金」の創設について
- ・閉会

4 会議経過・内容

開会にあたり、高宮城文化スポーツ統括監による挨拶があり、その後、沖縄県文化芸術振興審議会規則第3条第2項の規定に基づき、会長代理の進行により議事に入った。議事の内容については以下のとおり。

5 議事概要

金城委員 「沖縄県文化芸術振興基金」の創設について

沖縄県文化芸術振興基金について、知らなかった、活用できなかったという状況が無いように広く周知してほしい。

崎山委員 「沖縄県文化芸術振興計画」の進行管理について

成果指標「県が支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント（公演等）の参加者数」の達成率が以上に高いのはなぜか。

県

成果指標「県が支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント（公演等）の参加者数」は、県が後援したイベントの参加者数となっている。令和5年度から「全島エイサー祭り」を集計に含めており、約30万人の参加者があるということで数値が大きくなっている。

遠藤委員 文化芸術振興の取組について

県議会質問にあった道具類の保管場所に対する補助について、今後ずっと補助し続けるのではなく、どうしたら解消するのかという事を考えてほしい。

また、専門人材の配置について、取組状況を教えて欲しい。

沖縄県文化芸術振興基金について、「何をやるのか」「誰がどう決めるのか」が不透明であり、取組の数値目標や検証方法についても明らかにされていない。多くの人達が基金事業の効果を実感しづらいと思う。

現在行っている脚本コンテストについても、最終的にどのくらいの予算規模になるのか、今年度だけで2,500万円の予算をかけ、1本の公演だけを絞っていくことが適切なのか問われると思う。

県

専門人材の配置については、次年度の配置に向け内部調整を行っている。

基金は、寄附を募り、それに行政の一般財源もあわせて積立てていくということで、県民全体で支援する仕組みができたところ。今後の基金事業の在り方、進め方については、しっかり議論したいと思っている。今後、事業の説明も含めて本審議会の場を活用するのか、他の会議体を設定し整理するのか等、検討させていただきたい。

上原委員 「沖縄県文化芸術振興基金」の創設について

沖縄県文化芸術振興基金を活用して空手のミュージカルをつくり世界に発信したい。

崎山委員 文化芸術振興審議会の在り方について

審議会の在り方について見直して欲しい。せっかく各分野を代表する委員が出席しているので、委員全員が意見を出し合えるような場にしてほしい。